健康

生活 日月火水木金土
家族 家計 子育て 衣食住
働く 介護・シニア

紙上診察室

専門医のアドバイスを検索！ からだの悩み Q&A

27歳息子 尿潜血と尿タンパク

Q 息子（二十七）は毎年、健康診断の尿検査で潜血を指摘されます。運動などの刺激が原因かと、今年はジム通いを控えて臨みましたが、潜血、タンパクとも陽性の疑いがあるとのこと。尿pHは8でした。（女性、52歳）

＊

A 尿潜血と尿タンパクが同時に出ている場合は、腎臓病の疑いがあります。ただ、相談者の場合は両方とも軽微なので、発熱時にウーロン茶色の混濁尿が出なければ、進行性腎疾患の可能性は乏しいです。一方で、通常は弱酸性に保たれている尿pHは8とアルカリ性に傾いていることから、尿を酸性化することに障害があるようです。酢や健康サプリメントを常用していないなら精査が必要でしょう。

無症状でも精密検査を

無症状で、尿潜血と尿タンパクを認める若い男性に考えられるのは「IgA腎症」などです。腎臓内の特殊な毛細血管の集まり、糸球体に慢性的な炎症が起きている可能性があります。「身体の鏡」ともいわれる腎臓に、無症状の全身性疾患の影響が表れている場合もあります。

重要なのは、潜血や尿タンパクの程度、腎機能、高血圧の有無を正確に評価すること。試験紙を尿に浸し、色の変化で陽性か陰性かを見る健康診断の検査では分かることが限られます。尿に含まれるさまざまな成分を測る生化学検査が必要です。

さらに、血液検査やコンピューター断層撮影（CT）で腎機能や腎臓病の診断、重症度を評価し、進行性腎臓病を疑えば腎生検も検討します。病理診断に基づいて治療すれば、多くは治癒や軽快が期待できます。不必要な食事療法を避けるためにも腎臓内科医に相談しましょう。

（増子記念病院理事長兼院長）

両角 國男さん

紙上診察室への投稿を募集します。〒住所、氏名、年齢、電話番号（紙面では匿名）を書き、左面の宛先へ。

こちらからも